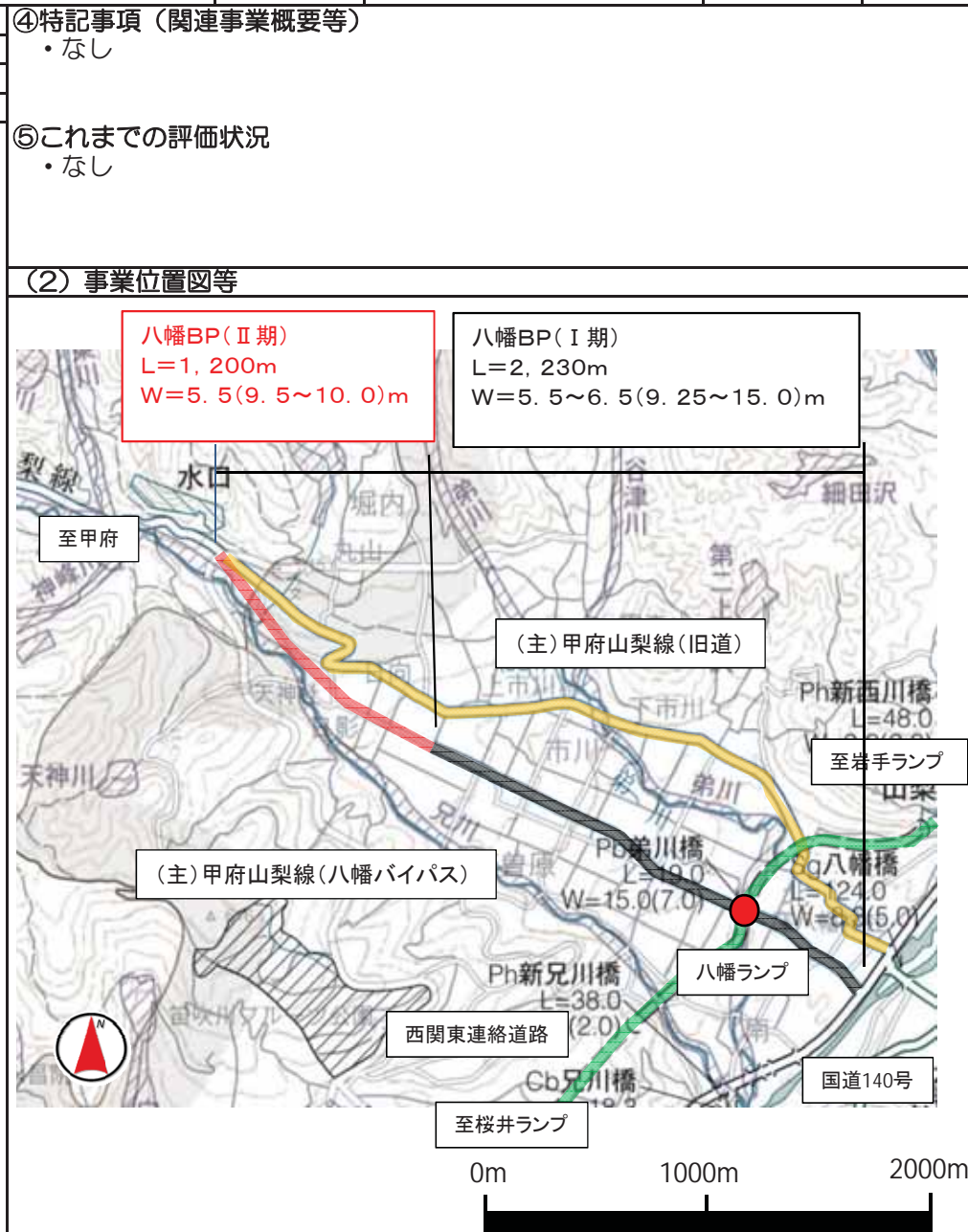


令和4年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補**・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	山梨市水口～大工	地区名	(主) 甲府山梨線 (八幡バイパスⅡ期)	事業主体	山梨県	
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項 (関連事業概要等) ・なし						
	H25～H30	H25～R4							変更計画
総事業費	500 百万円	500 百万円							950 百万円
(1) 事業の概要									
①事業目的及び効果									
主要地方道甲府山梨線は甲府市中央1丁目を起点とし、太良峠を経由して山梨市内の国道140号にいたる全長23.7kmの道路である。沿線住民の重要な生活道路となっているが、山梨市水口～大工区間は幅員の狭小箇所や視認性が悪い箇所が多く、円滑な通行に支障が生じている。このことから、地域の活性化及び非常時における輸送路の確保のため早期に整備する必要がある。									
□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率 38.7% < 64.0%未済※ 混雑時走行速度 29km/h < 30km/h以下※ ※評価基準値									
□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保									
□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保									
②事業概要									
道路改良 L=1200m W=5.5 (9.5～10.0) m Ⅱ-1期 L=700m W=9.5m Ⅱ-2期 L=500m W=10.0m									
③全体計画									
		令和3年度まで	令和4年度 (評価実施年度)	令和5年度以降					
現計画	工事内容	路線測量 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事						
	事業費	394 百万円	106 百万円						
変更計画	工事内容	路線測量 道路詳細設計 用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事	用地補償 道路改良工事 橋梁工事 埋蔵文化財調査					
	事業費	394 百万円	100 百万円	456 百万円					



※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

地元からの早期完成の要望あり

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

山梨県総合計画（令和元年12月）

山梨県社会資本整備重点計画 第四次（令和3年3月）

⑤自然環境条件等

なし

⑥その他

なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		500	百万円	950	百万円
工期		H25~H30		H25~R10	
評価基準年		H25		R4	
経済 効 率 性	費用	500	百万円	975	百万円
	建設費	420	百万円	869	百万円
	維持管理費	80	百万円	106	百万円
	その他()		百万円		百万円
	便益	700	百万円	1221	百万円
	走行時間短縮	560	百万円	1064	百万円
	走行費用減少	86	百万円	109	百万円
	交通事故減少	54	百万円	1	百万円
	その他※		百万円	47	百万円
	B/C		1.4		1.3

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

（H28年度変更内容）

当初、用地買収を平成28年度までに完了させる予定であったが、取得交渉が難航したため、用地買収完了を令和元年まで延期した。

上記理由により、4年計画を延長し完成を令和4年度とした。

評価シート(2)

(4) 事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R4年度進捗率(現計画)100.0%→(実績)98.7%→(変更計画)52.0%

②進捗率実績が計画と相違している理由
当該地域が埋蔵文化財包蔵地に指定されており、本調査を実施しなければならないことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
用地補償	150百万円 増	工作物(ブドウ棚)の移転補償条件変更による用地補償費の増工。
埋蔵文化財の調査	100百万円 増	埋蔵文化財保護法により、本調査を実施しなければならないため、調査費の増工
橋梁工の変更	150百万円 増	地質調査の結果、基礎地盤となる支持層が想定より深い位置で確認された事等による橋梁工の増工。
路肩幅の変更	50百万円 増	条例の改正に合わせて、路肩幅員の拡幅による工事費、用地費の増工。
合計	450百万円の増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
埋蔵文化財包蔵地であり、発掘調査の必要が生じたため工事の進捗が遅れている。残工事区間においても、文化財保護法による調査の必要があるため、工期を6年延長し令和10年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点
用地の早期取得
埋蔵文化財保護法による本調査

(5) 環境負荷等への配慮

なし

(6) コスト削減の可能性

なし

(7) 代替案立案の可能性

なし

(8) 所管部の今後の方針 継続 **見直し継続** ・ その他 ()

(理由)
今後も引き続き、用地取得に努め、継続的に事業を実施し、整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和10年度の完成を予定している。

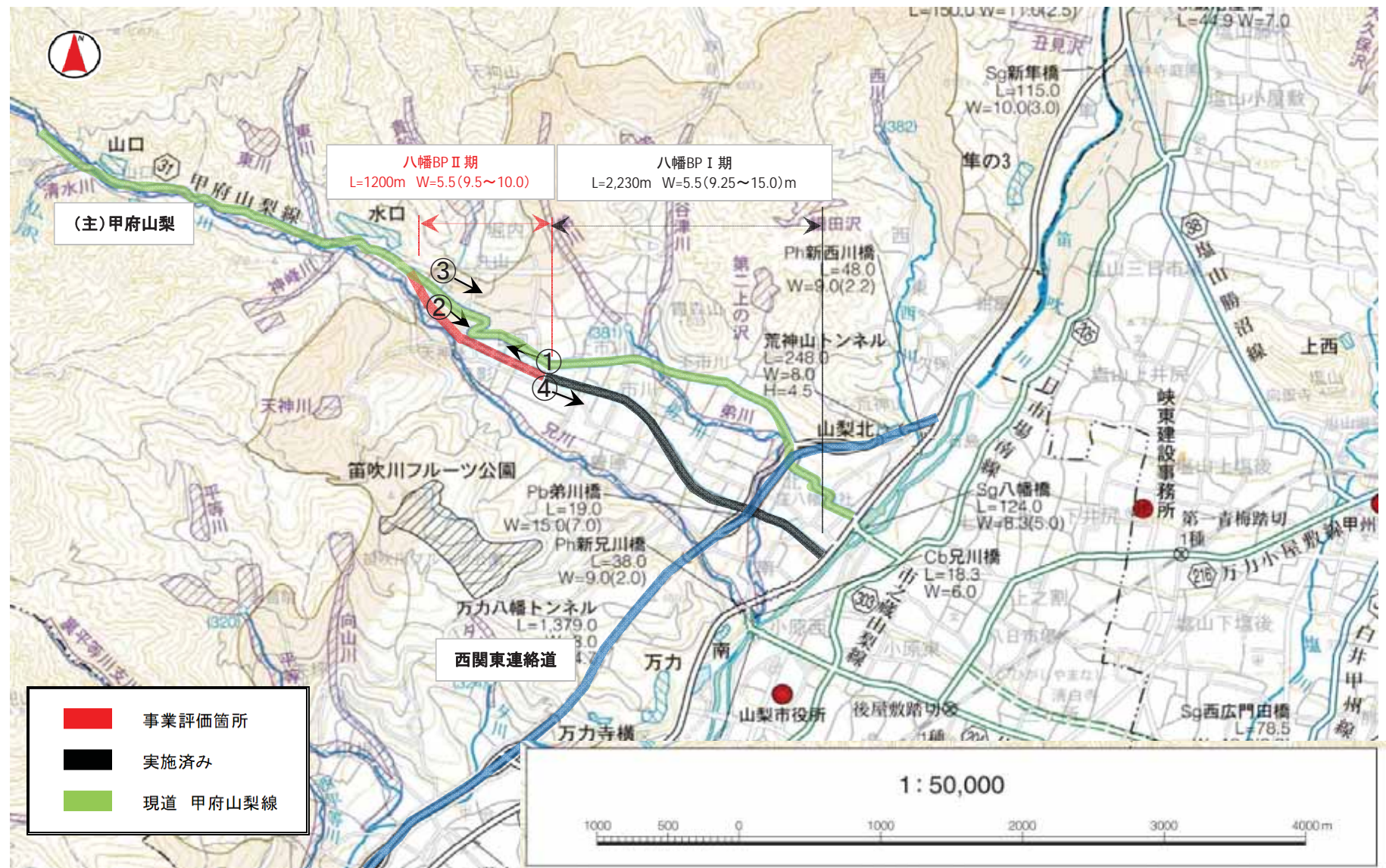
〇別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法:【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位:%

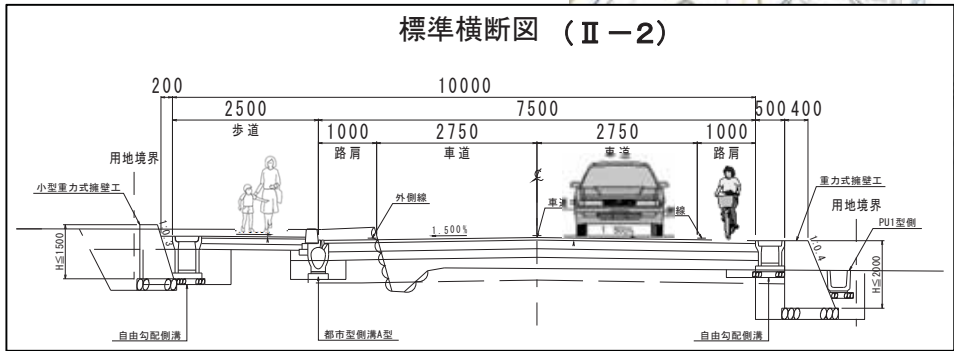
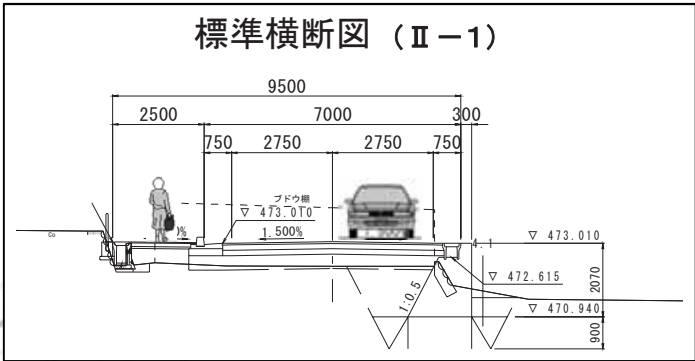
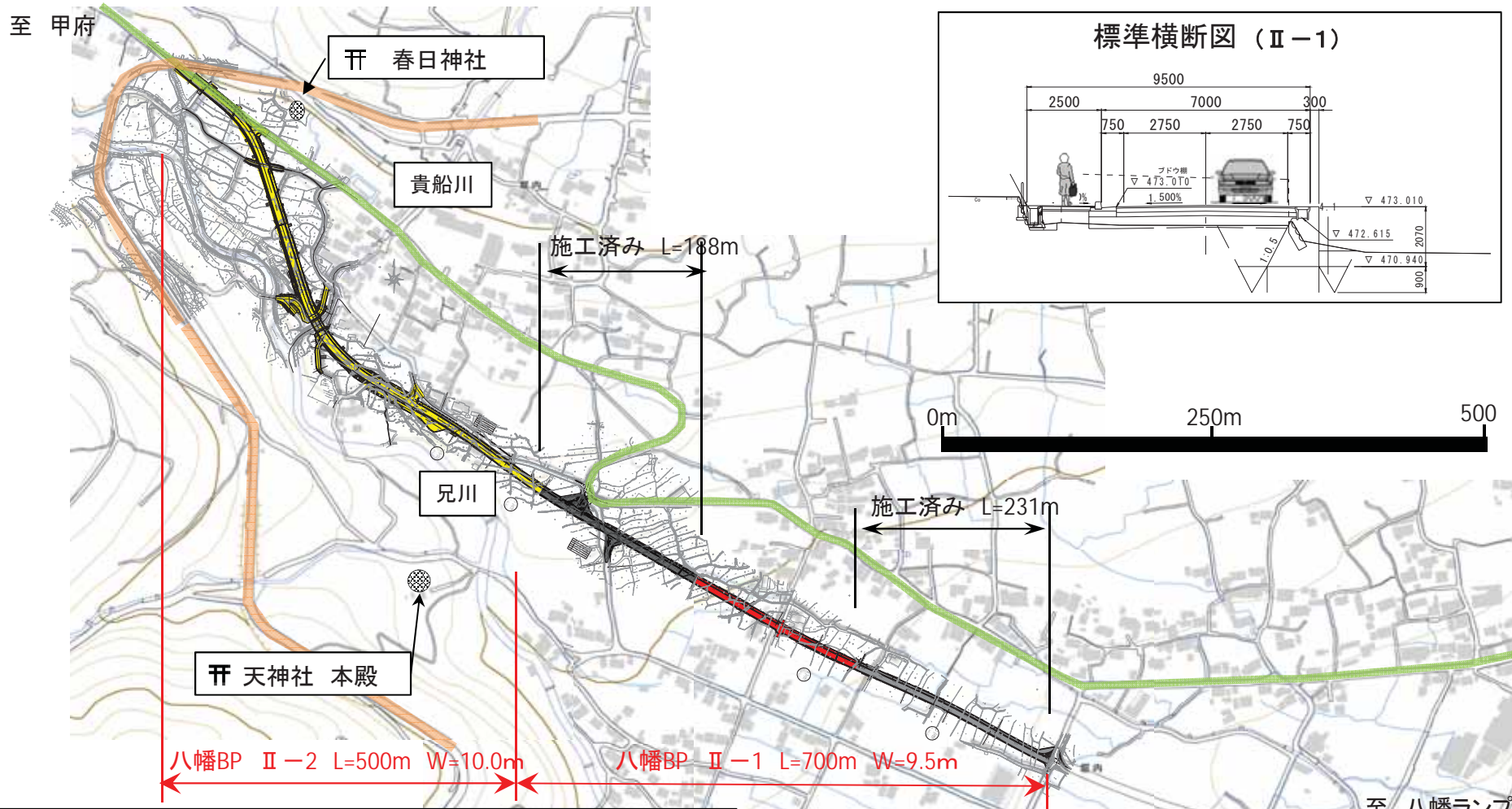
	年度	*H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	*R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	-	-
現	計画	2	4	8	15	25	35	50	75	85	100								
	実績	2.1	13.2	18.4	22.1	31.9	37.3	54	77.4	78.8	98.7								
変更計画											52	62.5	70.9	77.2	84.2	92.6	100		

*事業着手年度又は評価年度
*R4年度の実績は見込み

3.添付資料シート(1)



3. 添付資料シート (2)



- R4 施工予定
- 施工済み箇所
- R5 以降
- 現道 甲府山梨線
- フルーツライン

3. 添付資料シート (3)

①事業区間(八幡BPⅡ期)
改良済み箇所



②現道区間
急カーブによる視界不良箇所



③現道区間
幅員狭小箇所



④供用区間(八幡BPⅠ期)
改良済み箇所



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H25	10,612	道路設計	1.1%
H26	55,494	橋梁設計、用地補償	7.0%
H27	26,120	用地補償	9.7%
H28	18,473	用地補償	11.7%
H29	49,000	用地補償	16.8%
H30	26,899	用地補償、埋蔵文化財調査	19.6%
R1	83,246	用地補償、埋蔵文化財調査、道路改良工事	28.4%
R2	117,286	用地補償、道路改良工事	40.8%
R3	6,670	用地補償、埋蔵文化財調査	41.5%
R4	99,850	用地補償、道路改良工事	52.0%
R5	99,850	用地補償、道路改良工事	62.5%
R6	80,000	用地補償、道路改良工事	70.9%
R7	60,000	橋梁工事	77.2%
R8	66,500	橋梁工事、埋蔵文化財調査	84.2%
R9	80,000	道路改良工事、埋蔵文化財調査	92.6%
R10	70,000	道路改良工事	100.0%
合計	950,000		